

資料 1

令和6年度 大網白里市まち・ひと・しごと創生 有識者会議資料

議題 1

次期総合戦略（令和7年度～令和12年度） の策定について

- 1 大網白里市の現状について
- 2 第2期における取組の検証
- 3 第3期に向けて

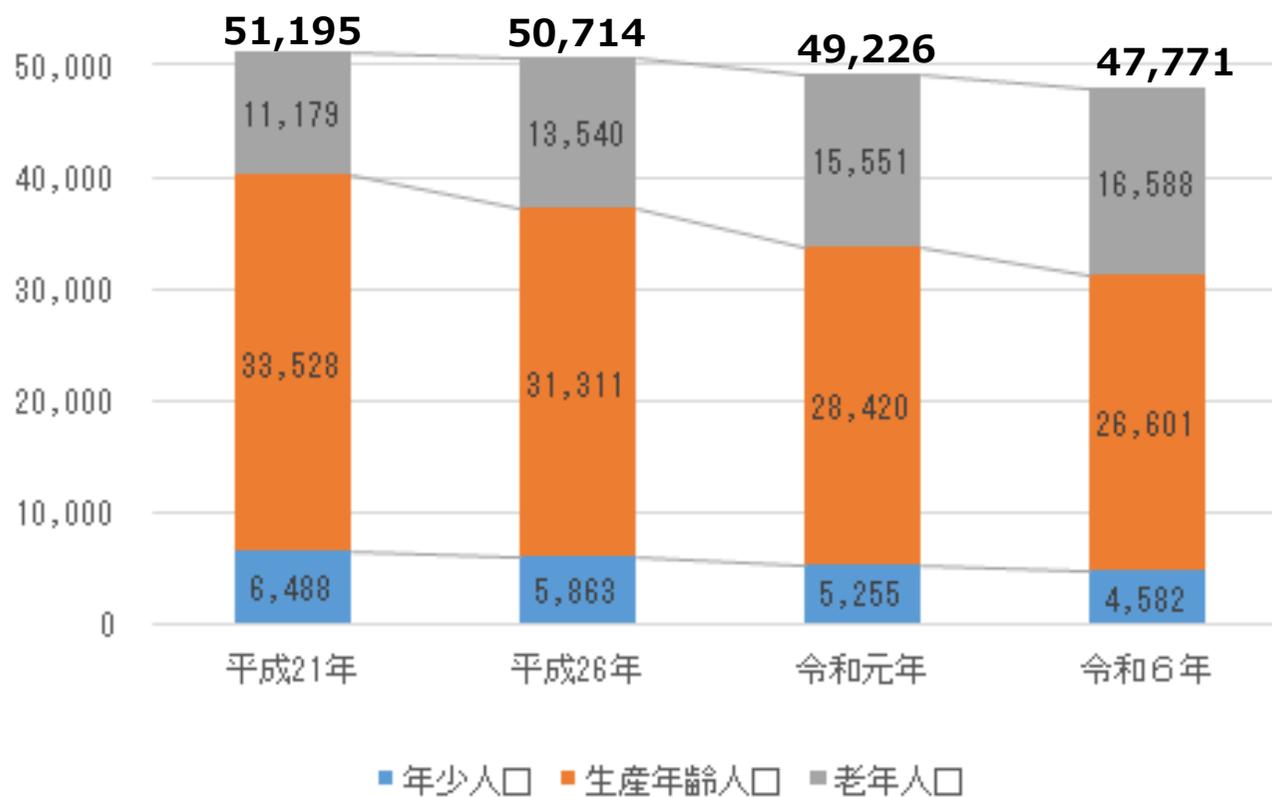


1 大網白里市の現状について

1.1 人口の推移

◎ 年少人口・生産年齢人口が減少、老年人口が増加
⇒ **少子高齢化が進行**

(各年10月1日 住民基本台帳人口)



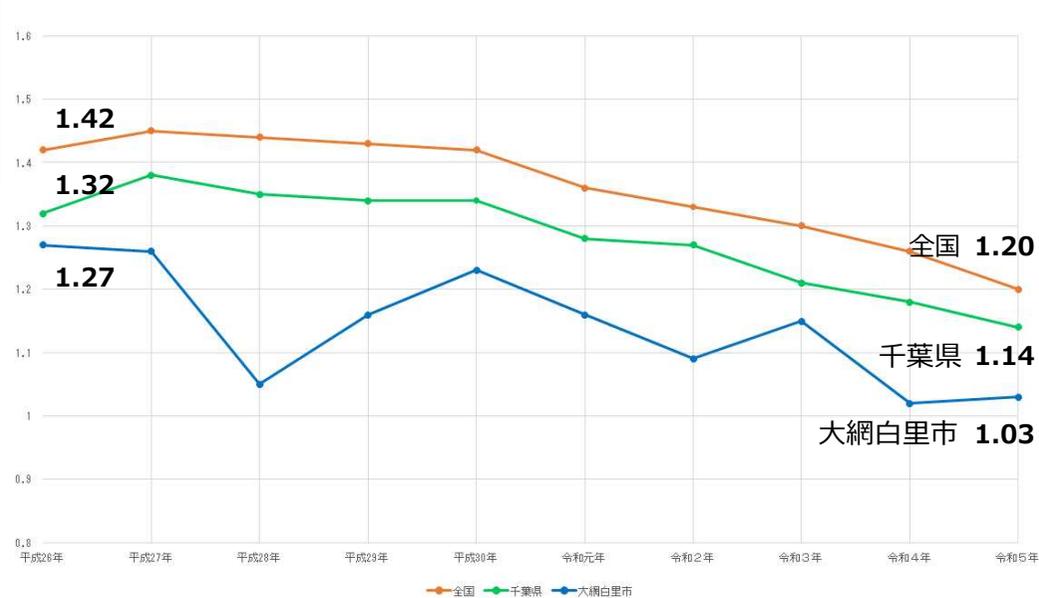
1.2 人口の推移（自然動態）

- ◎ 出生数は低下、死亡数は増加を続け、令和5年は471人の自然減少。
- ◎ 合計特殊出生率は過去10年間で2番目に低い「1.03」となった。

大網白里市の自然動態



合計特殊出生率の推移（H26～R5）



1.3 人口の推移（社会動態）

- ◎ 令和2年～令和5年は転入超過となったが、若い世代の流出が続いている。
- ◎ 令和6年は1～10月の合計が△46人となり、転出超過になる可能性がある。

大網白里市の社会動態



年齢階級別人口の推移（2019→2024）

2019		2024	
年齢階級	人口	年齢階級	人口
0～4歳	1,439	0～4歳	1,124
5～9歳	1,803	5～9歳	1,603
10～14歳	2,013	10～14歳	1,855
15～19歳	2,165	15～19歳	1,987
20～24歳	2,159	20～24歳	1,979
25～29歳	2,094	25～29歳	1,887
30～34歳	2,257	30～34歳	2,066
35～39歳	2,676	35～39歳	2,320
40～44歳	3,100	40～44歳	2,777
45～49歳	3,493	45～49歳	3,215
50～54歳	3,321	50～54歳	3,554
55～59歳	3,355	55～59歳	3,400
60～64歳	3,800	60～64歳	3,416

（各年10月1日時点 住民基本台帳人口）

1.4 人口の変化が税財政に与える影響

本市は個人住民税の構成比が極めて高く、
人口減少・少子高齢化により深刻な影響を受ける。

○令和5年度決算（上段：決算額、下段：構成比）

（単位：千円）

	歳入総額	地方税	市町村民税		固定資産税	歳出総額	民生費
			所得割	法人税割			
大網白里市	17,767,990	5,224,350 29.4%	2,732,161 52.3%	2,520,355 48.2%	45,641 0.9%	2,015,091 38.6%	16,887,088 43.1%
茂原市	34,762,793	12,648,920 36.4%	5,327,191 42.1%	4,413,596 34.9%	478,031 3.8%	5,788,116 45.8%	33,813,080 41.2%
東金市	24,654,976	7,652,522 31.0%	3,233,787 42.3%	2,764,144 36.1%	190,734 2.5%	3,252,924 42.5%	24,045,924 42.6%
山武市	26,365,612	5,767,724 21.9%	2,536,332 44.0%	2,098,805 36.4%	220,554 3.8%	2,678,346 46.4%	25,102,734 33.8%

1.5 人口の将来展望

現状

現状の人口構成から自然減を社会増で上回ることは難しい
⇒ 出生数の低下、高齢化の進行

想定

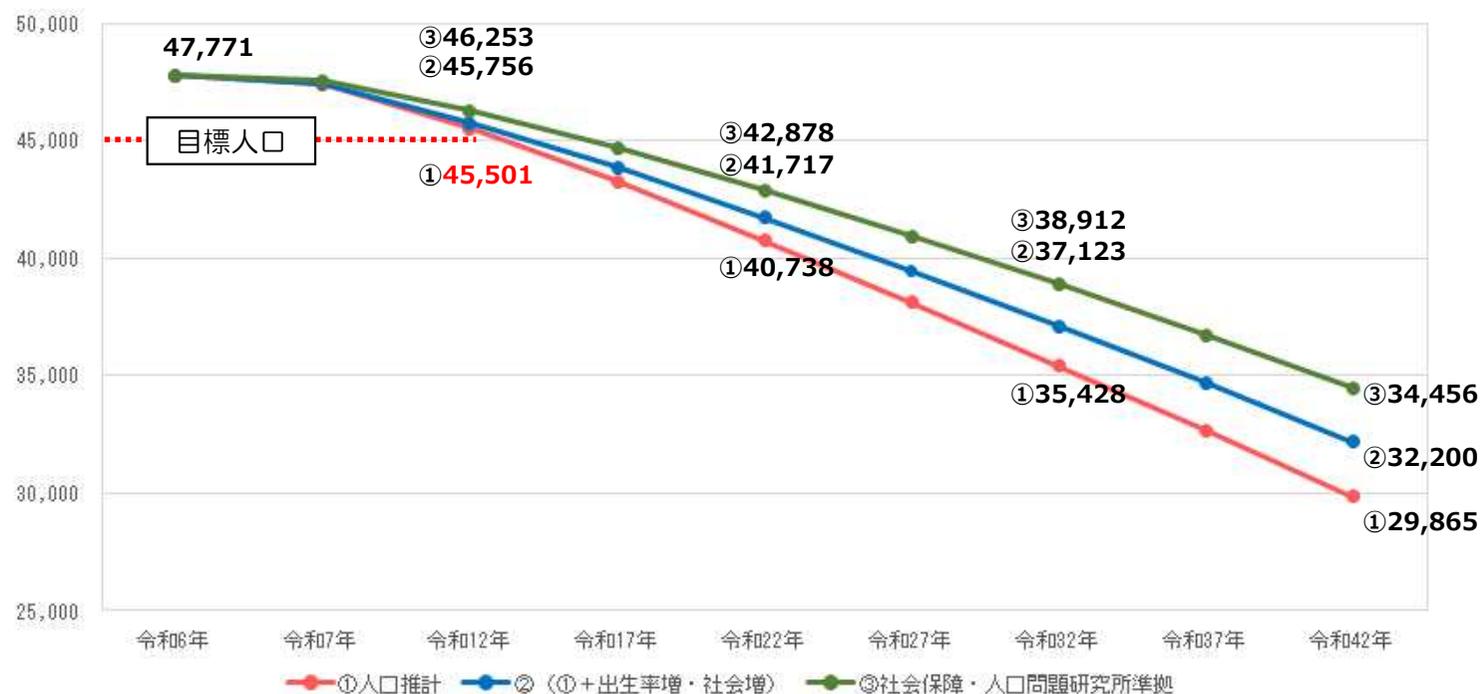
今後も人口減少は避けられない
⇒ 人口が減少することを前提としたまちづくり

目標

年間100人程度の社会増の達成及び
若い世代の社会動態を改善させ出生数の増加をめざす
⇒ 令和12年(2030年) 45,000人を維持

1.6 将来人口推計を試算

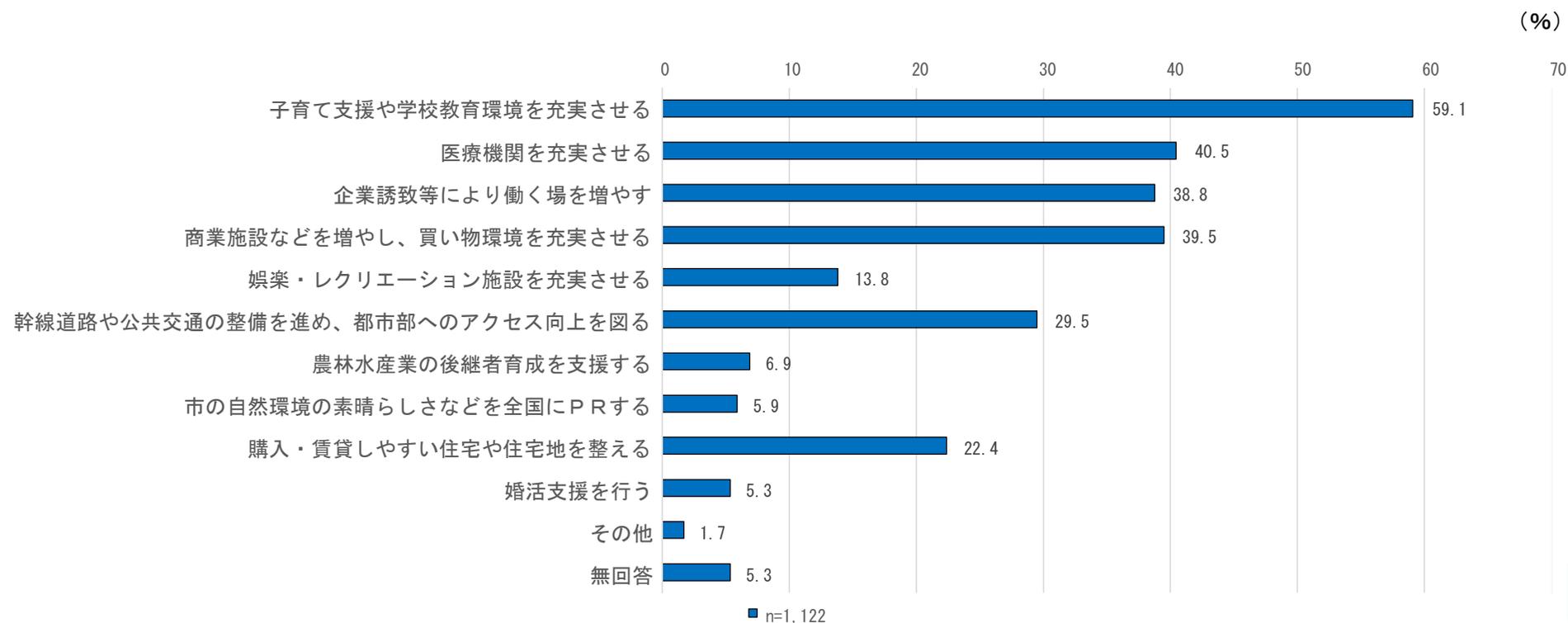
2030年（令和12年）の人口を **45,501人** と推計



	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和32年	令和37年	令和42年
①人口推計	47,405	45,501	43,247	40,738	38,112	35,428	32,673	29,865
②(①+出生率増・社会増)	47,442	45,756	43,860	41,717	39,457	37,123	34,697	32,200
③社会保障・人口問題研究所準拠	47,528	46,253	44,687	42,878	40,937	38,912	36,741	34,456

1.7 市民アンケート調査結果

◎ 『若い世代が大網白里市に定住していくために、何が必要か』という問いに対し、
「子育て支援や学校教育環境の充実」が最も多く、次いで「医療機関を充実させる」、
「商業施設などを増やし、買い物環境を充実させる」という結果になった。



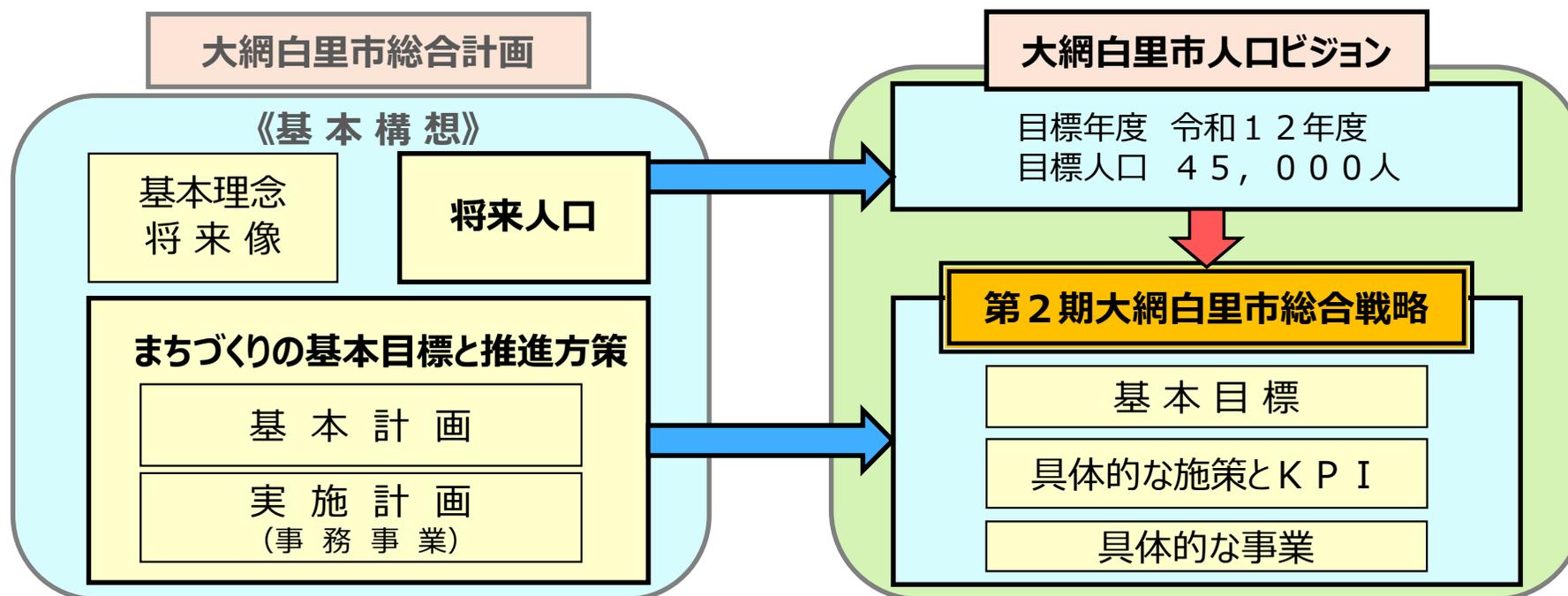


2 第2期における取組の検証

第2期大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略

2.1 総合戦略策定の目的・位置づけ

本市における人口減少や地域経済の縮小といった課題に対処し、まち・ひと・しごとの創生と好循環を確立するため、目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめるもの。



2.2 4つの基本目標

基本目標 1

「しごとをつくり、
安心して働ける場所
をつくる」

基本目標 2

「にぎわいと活力に
あふれた新しいひとの
流れをつくる」

基本目標 3

「若い世代が住みたくなる
出産・子育て・教育環境
を実現する」

基本目標 4

「誰もが安全で安心な
くらしができる魅力的な
地域をつくる」

基本目標 1 しごとをつくり、安心して働ける場所をつくる

【数値目標】

項目	策定時	目標値	現状値	目標値との差
就業人口	22,602人 (H27年 国勢調査)	増加 (22,603人以上)	22,522人 (R2年 国勢調査)	△ 79人
従業員人口	11,916人 (H27年 国勢調査)	増加 (11,917人以上)	12,396人 (R2年 国勢調査)	+ 479人

【主な事業】

- ◎ ふるさと納税制度を推進し、地域産業を活性化
- ◎ 大網駅東地区土地区画整理事業
- ◎ 国道128号沿道などの市街化調整区域における土地利用の促進
- ◎ 企業等誘致奨励金の拡充



基本目標 2 にぎわいと活力にあふれた 新しいひとの流れをつくる

【数値目標】

項目	策定時	目標値	現状値	目標値との差
年間転入者数	1,863人 (H30年)	1,900人以上	1,889人 (R5年)	△ 11人
年間転出者数	1,867人 (H30年)	1,800人以下	1,630人 (R5年)	△ 170人

【主な事業】

- ◎ おおあみしらさとの花火や市制施行10年記念の各種イベント実施
- ◎ 観光パンフレットなどの作成、広告宣伝の実施
- ◎ 公共交通事業者支援金、新たな公共交通施策の検討
- ◎ 小中池公園再整備の検討
- ◎ 地域交流拠点（道の駅）整備の検討



基本目標 3 若い世代が住みたくなる 出産・子育て・教育環境を実現する

【数値目標】

項目	策定時	目標値	現状値	目標値との差
年間出生者数	278人 (H30年)	300人以上	203人 (R5年)	△ 97人
合計特殊出生率	1.23 (H30年)	上昇 (1.24以上)	1.03 (R5年)	△ 0.21
児童福祉・子育て支援に対する満足度	2.48 (R1年)	上昇 (2.49以上)	2.45 (R6年)	△ 0.04

【主な事業】

- ◎ 子育て交流センターのオープン
- ◎ 小中学校トイレ洋式化、GIGAスクール構想の推進など教育環境の整備
- ◎ バス通学定期運賃補助金や多子家庭への小・中学校給食費無償化事業など子育て世帯への支援
- ◎ 結婚新生活支援事業補助金、不妊治療費助成事業など結婚・出産に関する支援



基本目標 4 誰もが安全で安心なくらしができる 魅力的な地域をつくる

【数値目標】

項目	策定時	目標値	現状値	目標値との差
健康づくりに対する満足度	2.82 (R1年)	上昇 (2.83以上)	2.83 (R6年)	+ 0
まちづくりへの参加協力意向がある割合	48.3% (R1年)	上昇 (48.4%以上)	- (R6年)	-
防災体制に対する満足度	2.52 (R1年)	上昇 (2.53以上)	2.62 (R6年)	+ 0.09

【主な事業】

- ◎ Web版総合防災ハザードマップの公開
- ◎ 金谷川河川改修事業の推進
- ◎ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
- ◎ 健康ポイント事業の推進





3 第3期に向けて

第3期大網白里市総合戦略

3.1 デジタル田園都市国家構想総合戦略

- ◎ 「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指し、2022年12月に策定。
- ◎ デジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえた地方版総合戦略に改訂するよう求められている。

国によるデジタル実装の基礎条件整備

① デジタル基盤の整備

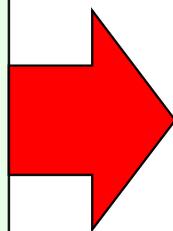
- ・ デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大 など

② デジタル人材の育成・確保

- ・ デジタル人材育成プラットフォームの構築、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成 など

③ 誰一人取り残されないための取組

- ・ デジタル推進委員会の展開、デジタル共生社会の実現 など



地方の社会課題解決

① 地方に仕事をつくる

- ・ 中小企業DX、地域の良質な雇用の創出、スマート農業、観光DX など

② 人の流れをつくる

- ・ 移住の促進、関係人口の創出・拡大 など

③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・ 結婚・出産・子育ての支援、少子化対策の推進 など

④ 魅力的な地域をつくる

- ・ 教育DX、医療・介護DX、地域交通DX など

3.2 基本目標

基本目標 1

「しごとをつくり、
安心して働ける場所
をつくる」

基本目標 2

「にぎわいと活力に
あふれた新しいひとの
流れをつくる」

デジタル技術の活用

基本目標 3

「若い世代の
結婚・出産・子育ての
希望を実現する」

基本目標 4

「誰もがくらしやすい
魅力あふれる
地域をつくる」

基本目標 1

しごとをつくり、安心して働ける場所をつくる

【基本的方向】

- ◇企業誘致を推進するとともに土地利用の活性化を図り、すべての世代が安心して働くことができるよう雇用を創出します。
- ◇市内の産物を活用した商品開発や、ブランド化などを推進し、しごとを創出します。
- ◇新たにしごとに就くための環境整備を行い、新規就業・就農を促進します。

【第3期総合戦略の数値目標】

項目	現状	目標値
事業所数	1,289事業所 (R3年 経済センサス)	増加 (1,290事業所以上)
従業員数	9,418人 (R3年 経済センサス)	増加 (9,419人以上)

基本目標 2

にぎわいと活力にあふれた新しいひとの流れをつくる

【基本的方向】

- ◇外房の玄関口となる大網駅や圏央道スマートインターチェンジ等、本市が持つ高い交通利便性を活かして市内へのひとの流れをつくるため、魅力ある市街地の形成を進めます。
- ◇国道128号沿道は沿道サービス型の土地利用の需要が高いことから、地域の利便性向上、活性化のための土地利用の促進を図ります。
- ◇市の魅力発信を強化し、関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進を図ります。

【第3期総合戦略の数値目標】

項目	策定時	目標値
年間転入者数	1,889人 (R5年)	1,800人以上
年間転出者数	1,630人 (R5年)	1,700人以下

※ R6.1~10 転入者1,502人

※ R6.1~10 転出者1,548人

基本目標 3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現する

【基本的方向】

- ◇医療体制や母子保健を充実させ、出産しやすい環境を整備するとともに、子育て支援の拡充や教育環境の向上により、切れ目のない子育て環境の整備を進めます。
- ◇結婚・出産・子育て環境の充実と支援強化により、結婚・出産の希望を持つ若者、育児をしている子育て世代の移住・定住を促進します。
- ◇子育て・教育分野におけるデジタル技術の活用を推進し、教育の質の向上を図ります。

【第3期総合戦略の数値目標】

項目	策定時	目標値
年間出生者数	203人 (R5年)	200人以上
児童福祉・子育て支援に対する満足度	2.45 (R6年)	上昇 (2.46以上)

※ R6.1～10 出生者142人

基本目標 4

誰もがくらしやすい魅力あふれる地域をつくる

【基本的方向】

- ◇ 住み慣れた地域において社会から孤立することなく、誰もが居場所と役割を持って、安全に安心してくらすことのできる地域社会の実現を目指します。
- ◇ 地域づくりを担う組織や企業と連携し、市民や民間の活力を活かしたまちづくりを進めます。
- ◇ 市行政手続きのDX化を推進し、市民の利便性向上を図ります。

【第3期総合戦略の数値目標】

項目	策定時	目標値
住みやすいと思う市民の割合	62.7% (R6年)	上昇 (62.8%以上)
健康づくりに対する満足度	2.83 (R6年)	上昇 (2.84以上)
防災体制に対する満足度	2.62 (R6年)	上昇 (2.63以上)

3.3 計画期間

- ◎ 令和7年度から令和12年度までの6年間を計画期間とし、本市の最上位計画である総合計画との整合を図る。
- ◎ なお、第3期総合戦略の計画期間終了後は、総合計画との一体的な策定を行うことで、総合戦略の進捗管理・効果検証の効率化を目指す。



議題 2

企業版ふるさと納税の活用状況について

- 1 企業版ふるさと納税
- 2 事業の評価と今後の方針

1 企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について、法人関係税を税額控除。



活用の流れ

- ① 地方公共団体が地方版総合戦略を策定する。
- ② ①の地方版総合戦略を基に、地方公共団体が地域再生計画を作成する。
- ③ 内閣府が地方公共団体の地域再生計画を認定し、企業版ふるさと納税の受け入れが可能となる。

2 事業の評価と今後の方針

- ◎ 地域再生計画の認定を受けた令和3年3月以降、計**13,650千円**の寄付を受領
- ◎ 地域再生計画の数値目標は令和5年度末時点で10項目中4項目達成。※

※第2期総合戦略の数値目標（P14～P17記載）と同じ指標を設定

	寄附額	件数	寄附活用事業	事業内容
令和3年度	600千円	5件	魅力発信事業	地方移住の促進及び観光需要の回復のため、移住定住・ふるさと納税PR用パンフレットやAR動画を活用した観光情報マップを作成。
令和4年度	10,150千円	2件	小学校施設衛生環境整備事業	児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続することを目的に、小学校の校舎内トイレを和式便器から蓋付きの洋式便器に改修する。
令和5年度	1,700千円	6件	バス通学定期運賃補助金	子育て世帯の経済的負担軽減及び路線バスの利用促進を目的に、市内を運行する路線バスを利用して通学する学生を対象に定期券購入代金の一部を補助する。
			大網駅南地区まちづくり事業	大網駅南地区を市の玄関口にふさわしい魅力あるまちとするため、「まちづくり検討会」の運営や、専門業者からまちづくりの技術的な支援を受ける。
令和6年度 (11月末時点)	1,200千円	3件	バス通学定期運賃補助金	(令和5年度と同様)
			大網駅南地区まちづくり事業	(令和5年度と同様)
計	13,650千円	16件		